

一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟
2023年度 事業報告

2023年度は、以下の基本方針に基づき事業を行った。

1. 基本方針

- (1) ソーシャルワーク教育学校（以下、「養成校」という。）における教育の充実を図るため、各種情報提供及び研修等を実施するとともに、養成校教員及び現任有資格者の知識アップデートをはかるため、関係団体（事業者団体、専門職団体、学会等）と連携した取り組みを行う。
- (2) 新カリキュラム施行による実習教育内容変更への対応と実習先を安定的に確保するため、事業者団体、専門職団体、学会等と連携・協働した取組を強化し、養成校への支援を行う。
- (3) 社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験を受験する者（新卒者及び既卒者）への合格支援の取組強化に加え、学生の就職活動やソーシャルワーカーの仕事、養成教育の内容に関する情報発信を強化する。
- (4) 災害時における支援活動の体制基盤整備及び養成教育における災害支援に関する教育を強化するために必要な対応を検討する。
- (5) 養成教育及び実践現場におけるICTの活用促進に向けた取り組みを行う。
- (6) 厚生労働省が社会福祉士及び精神保健福祉士を主な対象として創設した認定資格となる「子ども家庭ソーシャルワーカー（仮）」の試験・登録等の認定機関として、本連盟、日本社会福祉士会、日本医療ソーシャルワーカー協会、日本精神保健福祉士協会の4団体が基本財産を拠出して設立者となり、「一般財団法人日本ソーシャルワークセンター（仮）」を設立し、認定機関としての指定を受けるとともに、試験・登録等実施体制の準備に入る。また、この取り組みを踏まえ、「スクールソーシャルワーク教育課程認定事業」及び「子ども家庭ソーシャルワーク教育課程認定（仮）」の検討を行う。
- (7) 高校生、養成校学生・既卒者等への情報発信を強化するため、オンライン・プラットフォームを最大限活用する。とりわけSNS（Twitter、Instagram、Facebook等）及びオンライン動画共有プラットフォーム（YouTube等）で発信するコンテンツの強化を図る。
- (8) 大学院を活用した専門職の育成のあり方について検討する。
- (9) ソーシャルワークにかかる国際動向を情報収集・発信するとともに、国際学術交流と連携の促進を図る。
- (10) 本連盟の事務局における指示命令系統及び職権・職責の明確化、業務効率化、省力化、コンプライアンスの強化を図るため、必要な措置を講じる。
- (11) ソーシャルワーク専門職養成教育の充実・専門職の安定雇用・活躍や福祉人材確保に向けた政策等に対するインパクトのある実証データを蓄積するための体制を強化する。
- (12) その他、上記の基本方針を達成するために必要な活動を推進する。

2. 法人運営

新型コロナウイルス感染症感染拡大を防止する観点から、2023年度の諸会議は基本的にweb（オンライ

ン)にて実施したが、状況と必要に応じて参集でも開催した。

(1) 総会の開催

① 2023年度通常総会

日時：2023年6月3日(土)13時00分～14時38分

方法：新型コロナウイルス感染症の影響により書面表決による出席により開催。

※議案説明および質疑は本連盟事務局からzoomミーティングにより双方向のオンラインライブ配信で実施。

出席者：正会員258校のうち、書面表決241校

議案：

第1号議案：2022年度事業報告及び決算(案)について

第1号議案関連：2022年度監査報告

第2号議案：役員を選任について

(2) 理事会の開催

①2023年度第1回理事会

日時：2023年5月12日(金)18時00分～19時45分

方法：zoomによる遠隔会議

出席者：理事15人のうち11人、監事3人のうち2人、相談役3人、顧問2人のうち1人、事務局参与1人

議案・報告事項：

第1号議案：2022年度事業報告(案)について

第2号議案：2022年度決算(案)について

第1号及び第2号議案関連：2022年度監査報告

第3号議案：第12期役員候補者選考に係る委員会の設置および選考の基本方針について

第4号議案：第12期役員候補者について

第5号議案：2023年度通常総会について

第6号議案：倫理審査委員会について

第7号議案：新団体の設立について

報告1：2023年度事業について

報告2：2023年度国家試験合格支援事業について

報告3：スクールソーシャルワーカーの常勤化への働きかけについて

報告4：本連盟会員校数について

報告5：その他

②2023年度臨時理事会

日時：2023年6月3日(土)13時35分～13時45分

方法：参集ならびにzoomによる遠隔会議

出席者：理事 14 人のうち 10 人、監事 3 人のうち 2 人

審議事項 1：議事録署名人の選任

審議事項 2：附帯決議事項による団体からの推薦のあった者の選任

審議事項 3：日本ソーシャルワーク教育学校連盟（ソ教連）役職者の選考について

審議事項 4：相談役の選任

③2023 年度第 2 回理事会

日 時：2024 年 3 月 28 日（木） 9 時 00 分～10 時 30 分

方 法：zoom による遠隔会議

議案・報告事項：

第 1 号議案：2023 年度補正予算（案）について

第 2 号議案：2024 年度事業計画（案）について

第 3 号議案：2024 年度予算（案）について

報告 1：2023 年度事業の状況報告

報告 2：ソ教連の退会について

報告 3：ソ教連会員校数について

報告 4：SSW 教育課程廃止校について

報告 5：今後の役員会議の日程について

報告 7：能登地震先遣報告について

報告 8：その他

（3）書面による理事会の開催

①第 1 回書面理事会

・議案

1) スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程認定事業 変更申請の認定審査

・書類発送日：2023 年 5 月 24 日／締切日：2023 年 6 月 1 日

②第 2 回書面理事会

・議案

1) スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程認定事業 変更申請の認定審査

2) 社会福祉系専門職大学院認証評価事業 自己点検・評価報告書（案）について

・書類発送日：2023 年 7 月 19 日／締切日：2023 年 7 月 28 日

③第 3 回書面理事会

・議案

1) スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程認定事業 変更申請の認定審査

・書類発送日：2023 年 9 月 6 日／締切日：2023 年 9 月 14 日

④第 4 回書面理事会

・議案

1) 本連盟育児休業、介護休業等に関する規程について

・書類発送日：2023年10月13日／締切日：2023年10月23日

⑤第5回書面理事会

・議案

1) スクール(学校) ソーシャルワーク教育課程認定事業 新規申請及び変更申請の認定審査

・書類発送日：2023年11月17日／締切日：2023年11月27日

⑥第6回書面理事会

・議案

1) スクール(学校) ソーシャルワーク教育課程認定事業 変更申請の認定審査

・書類発送日：2024年3月13日／締切日：2024年3月21日

(4) 役員候補者選考委員会

日時：2023年5月12日(金) ※理事会を一時中断して開催、結果を理事会へ報告

議事：第12期役員候補者の選考について

(5) ブロック運営委員長会議

日時：2023年7月4日(火) 19時30分～21時06分

方法：zoomによる遠隔会議

議題：2022年度ブロック活動報告と2023年度のブロック活動について

出席者：

・各ブロック委員長等：

北海道：畑亮輔(北星学園大学)、東北：三浦剛(東北福祉大学)

関東甲信越：船水浩行(東海大学)、東海北陸：樋澤吉彦(名古屋市立大学)

近畿：大西敏浩(四天王寺大学)、中国四国：守本友美(周南公立大学) ※代理出席

九州沖縄：茶屋道拓哉(鹿児島国際大学)

・本連盟：中村和彦(北星学園大学、会長)、和気純子(東京都立大学、副会長)、中村卓治(広島文教大学、常務理事)、伊藤新一郎(北星学園大学、事務局長・司会)、事務局

(6) 業務執行理事会・理事懇談会

①第1回業務執行理事会

日時：2023年5月9日(火) 18時30分～23時15分

方法：zoomによる遠隔会議

出席者：業務執行理事5人、事務局長、事務局

議題：

1) 協議事項

・2022年度事業報告(案)

・2022年度決算(案)及び監査報告

・2023年度第1回理事会と2023年度総会の議題、実施方式、入会について(報告)、会員外理事の交代と手続きについて(協議)

- ・第12期役員選任の手続きについて
- ・倫理審査委員会の立ち上げについて
- ・新団体の設立について

2) 報告、確認事項

- ・退会校、会員校数
- ・2023年度国庫補助による調査研究事業（2件）
- ・2023年度事務局体制
- ・今後の役員会議スケジュール

②第2回業務執行理事会

日時：2023年7月3日（月）17時～19時

方法：zoomによる遠隔会議

出席者：業務執行理事5人、事務局長、事務局参与、事務局

議題：

1) 協議事項

- ・執行部の役割分担
- ・理事懇談会について
- ・ブロック運営委員長会議について
- ・全国社会福祉教育セミナーの企画
- ・日本地域福祉学会事務局受託について

2) 報告、確認事項

- ・役員交代に関する手続き進捗状況
- ・2023年度事業の進捗報告
- ・今後のスケジュール

③第3回業務執行理事会

日時：2023年7月26日（水）18時～20時

方法：zoomによる遠隔会議

出席者：業務執行理事5人、事務局長、事務局参与、事務局

議題：

1) 協議事項

- ・日本ソーシャルワークセンターへの対応について

2) 報告事項

- ・全国社会福祉教育セミナー、大雨被害への対応

④第4回業務執行理事会

日時：2023年9月17日（日）15時～17時50分

方法：zoomによる遠隔会議

出席者：業務執行理事4人、事務局長、事務局参与、事務局

議題：

1) 協議事項

- ・政治的活動について
- ・研修オンライン受講システムについて

2) 報告事項

- ・今後の規程の改正について

⑤第5回業務執行理事会

日時：2023年9月27日（水）20時～21時15分

方法：zoomによる遠隔会議

出席者：業務執行理事5人、事務局長、事務局参与、事務局

議題：

1) 協議事項

- ・政治的活動について

⑥第6回業務執行理事会

日時：2024年3月3日（日）16時～18時

方法：zoomによる遠隔会議

出席者：業務執行理事5人、事務局長、事務局

議題：

1) 協議事項

- ・2023年度補正予算案
- ・2024年度事業計画案、予算案
- ・第2回理事会の議題
- ・今後のスケジュール
- ・その他

2) 報告事項

- ・2023年度事業進捗報告
- ・入退会状況
- ・その他

⑦理事懇談会

日時：2023年7月12日（水）19時30分～20時

方法：zoomによる遠隔会議

出席者：理事10人、事務局長、事務局

次第：

- 1) 会長挨拶、主旨説明、出席者自己紹介
- 2) 2023年度事業計画についての説明と意見交換

(5) こども家庭ソーシャルワーカー認定資格にかかる一般財団法人日本ソーシャルワークセンターの立ち上げへの協力及び必要な運営支援等を行った。

(6) 災害対応部会

会員校への情報収集・提供等とともに、2024年1月に発生した令和6年能登半島地震に際し、被災情報の収集を実施するとともに、先遣隊を4度派遣し、今後の会員校の学生ボランティアの展開に向けた調整を実施するとともに、被災エリアのソ教連会員校のボランティア活動の後方支援として、活動への同行や使用物品の貸与等を行った。リーダー：山本克彦（日本福祉大学）

(7) プロジェクトチーム

- ① ソーシャルワーク教育のエデュケーショナルポリシーとソーシャルワーク専門職のコンピテンシー策定プロジェクトチーム：2024年3月2日第1回会議。3月29日第2回会議開催。メンバー：浅野貴博（ルーテル学院大学）、伊藤新一郎（北星学園大学）、木下大生（武蔵野大学）、小森敦（日本ソーシャルワーク教育学校連盟）、清水潤子（武蔵野大学）、添田正揮（日本福祉大学）、南野奈津子（東洋大学）、與那嶺司（武庫川女子大学）、渡辺裕一（武蔵野大学）
- ② ソーシャルワーク教育における災害福祉支援にかかる教育強化及び災害派遣福祉チーム（DWA T）等研修及び支援活動との連携・方法検討プロジェクトチーム：災害対応部会において検討した。
- ③ 社会福祉士及び精神保健福祉士養成に係る実習を、ICTを活用して遠隔地（過疎地域・限界集落等）で実施するためのプロジェクトチーム：2023年11月30日に厚生労働省社会・援護局長通知「『社会福祉士養成施設及び介護福祉士養成施設の設置及び運営に係る指針について』の一部改正について」が公表された。プロジェクトチームとしての活動は行わなかった。
- ④ 社会福祉士または精神保健福祉士国家試験受験資格を有する既卒者に対するリ・ラーニング（学び直し）と資格取得再チャレンジプロジェクトチーム（模擬試験・対策講座を含む）：厚生労働省社会福祉推進事業の「社会福祉士学校養成所の既卒者に対する国家資格取得支援の在り方に関する調査研究事業」によって実施。
- ⑤ サーベイ・リサーチチーム：厚生労働省社会福祉推進事業の「社会福祉士学校養成所の既卒者に対する国家資格取得支援の在り方に関する調査研究事業」及びこども家庭庁子ども・子育て支援等推進調査研究事業の「こども家庭ソーシャルワーカー（仮）の施行に向けた具体的運用に関する調査研究」における調査を実施。メンバー：畑亮輔（北星学園大学）、増田和高（武庫川女子大学）、渡辺裕一（武蔵野大学）
- ⑥ こども家庭ソーシャルワーク認定資格にかかる本連盟内プロジェクトチーム：こども家庭庁子ども・子育て支援等推進調査研究事業の「こども家庭ソーシャルワーカー（仮）の施行に向けた具体的運用に関する調査研究」を実施したため、プロジェクトチームは設置せず。

(8) 倫理審査委員会

- ① 第1回倫理審査委員会
 - ・日時：2023年8月10日（木）
 - ・方法：zoomによる遠隔会議
 - ・審査案件：令和5年度社会福祉推進事業「社会福祉士学校養成所の既卒者に対する国家資格取得支援の在り方に関する調査研究事業」社会福祉法人調査・既卒受験者調査・養成校調査
- ② 第2回倫理審査委員会
 - ・日時：2023年11月17日（木）

- ・方 法：zoomによる遠隔会議
- ・審査案件：令和5年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業「こども家庭ソーシャルワーカー（仮）の施行に向けた具体的運用に関する調査研究」現任者調査・職能団体会員調査

③ 第3回倫理審査委員会

- ・日 時：2024年1月29日（月）
- ・方 法：zoomによる遠隔会議
- ・審査案件①：令和5年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業「こども家庭ソーシャルワーカー（仮）の施行に向けた具体的運用に関する調査研究」養成校調査
- ・審査案件②：ソーシャルワーク実習（旧：相談援助実習）担当教員講習会受講修了者に対するアンケート調査

3. 事業

(1) 教育水準の向上（新カリ教育の充実のための情報提供及び研修、知識アップデートのための関係団体との連携等）

①こども家庭庁 令和5年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「こども家庭ソーシャルワーカー（仮）の施行に向けた具体的運用に関する調査研究」

事業内容：こども家庭ソーシャルワーカー（仮）認定資格の研修の質を担保し、また安定的な制度運用を行うため、認定資格の施行に向け、認定資格取得のための研修の一部の試行実施、研修テキストの例の作成、講師講習の試行実施、講習会講師要件等の検討、調査、パンフレットの作成と配布等を行った。

- ・事業実施に伴い実施した調査（計4種）

社会福祉士・精神保健福祉士調査／自治体（市町村）調査／こども家庭福祉に関する機関・団体調査／社会福祉士・精神保健福祉士養成校調査

②社会福祉士学校養成所の既卒者に対する国家資格取得支援の在り方に関する調査研究事業（社会福祉推進事業）

厚生労働省令和5年度生活困窮者就労準備支援事業費補助金（社会福祉推進事業分）により、「社会福祉士学校養成所の既卒者に対する国家資格取得支援の在り方に関する調査研究事業」を実施した。

事業内容：既卒者に対する社会福祉士国家資格取得の有効な支援方法を検討するとともに、既卒者に対して資格取得を促す継続的な支援体制の整備のあり方について調査研究した。本事業において、既卒者の学習計画立案・実行支援のための「社会福祉士・精神保健福祉士 合格完全ガイド 2024年2月試験向け」を作成・配布した。また、既卒者の資格取得支援策の充実のための環境醸成を目的に「社会福祉法人と社会福祉士養成校のための既卒者合格支援ガイドライン」を作成した。これらを本会会員校ならびに全国の社会福祉法人（保育所およびその関連事業のみを行う法人を除く）に配布し、その普及を図った。

- ・事業実施に伴い実施した調査（計3種／いずれも国家資格取得支援調査として実施した）

社会福祉法人調査（法人全体・運営管理者）、法人所属受験者調査（社会福祉法人調査対象法

人の既卒者および全国統一模擬試験受験者のうち社会福祉法人に勤務する既卒者)、社会福祉士養成校調査(社会福祉士養成課程を設置する会員校)

上記調査のほか、本事業における学習支援ツール活用モニタリングの参加者に対し、受験勉強の取組状況、「国家試験受験集中講座」等学習支援ツールの活用状況等に関する調査を5回行った。

③社会福祉士・精神保健福祉士実習演習担当教員講習会(法定講習)の企画・実施

厚生労働省令に定められた社会福祉士ならびに精神保健福祉士の養成課程における実習・演習科目担当教員の要件を満たすための認定講習会としてオンデマンド・オンライン形式で実施した。
事業内容:社会福祉士、精神保健福祉士の実習演習科目担当教員の資質向上を目的に開催。

「ソーシャルワーク専門職の資格を有する者がソーシャルワーク専門職を育てる」ことを基本とすべきであるとし、受講要件を「原則社会福祉士国家資格または精神保健福祉士国家資格を有している者」としている。また、本講習会の評価とソーシャルワーク実習担当教員のニーズを把握する調査を実施し、今後の活動を検討した。

・事業実施に伴い実施した調査(1種)

ソーシャルワーク実習(旧;相談援助実習)実習担当教員講習会受講修了者に対するアンケート調査

④第52回全国社会福祉教育セミナー2023in大阪

- ・テーマ:『ポストコロナ時代のソーシャルワーク教育を考える〜コロナ禍の経験からの学びと魅力ある教育の展開に向けて〜』
- ・日程:2023年12月2日(土)・3日(日)
- ・会場:大阪公立大学中百舌鳥キャンパスA5棟※参集形式
- ・参加者:167人、情報交換会:44人

⑤スクールソーシャルワーク関係事業

- ・スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程認定事業

認定校数 62校

書面による変更審査委員会を4回開催

オンラインを方式による新規申請・変更審査委員会を1回開催

新規設置校:関西福祉科学大学、西九州大学、聖学院大学

スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程修了証の発行数:148人(2023年3月31日末時点。通算1,003人)

新型コロナウイルス感染症に伴う、スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程認定事業に対する対応の廃止について(2023年10月31日)を発出した。

- ・スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程専門科目群担当教員講習会

開催日:2023年9月16日(土)、30日(土)、10月15日(日)、21日(・土)

方法:ZOOMによるオンライン開催

修了者:18人

講師（出演順）：文部科学省、山野則子（大阪公立大学）、富島喜揮（四国学院大学）、野尻紀恵（日本福祉大学）、奥村賢一（福岡県立大学）

・2023年度スクールソーシャルワーカー基礎研修

開催日：2024年1月20日（土）、21日（日）

方 法：ZOOMによるオンライン開催

受講者：87人

講師（出演順）：文部科学省、空閑浩人（同志社大学）、山野則子（大阪公立大学）

・大学生等に対する給付型の修学支援に関する文部科学省との連携等

上記講習会・研修会で、文部科学省 高等教育局 学生支援課 高等教育修学支援室の要請により「大学生等に対する給付型の修学支援」（授業料等減免と給付型奨学金）の行政説明をプログラムに組み込み、SSW教育課程教員及びSSW（予定者）に制度周知を図った。また、会員校及びSSW教育課程設置校、職能団体へ情報提供と周知協力を行った。

⑥こども家庭ソーシャルワーカー認定資格に関する活動等

こども家庭ソーシャルワーカー認定資格については、2023年11月14日に内閣府令及びこども家庭庁長官告示が公表され、資格の研修認定・試験・登録等を行う機関が公募された。本連盟では社会福祉士・精神保健福祉士の職能3団体とともに一般財団法人日本ソーシャルワークセンターを設立し、同団体は2023年12月26日付でそれらの事業を行う機関として認定された。本連盟ではこども家庭庁補助による調査研究事業によって認定研修のテキスト例の作成や研修実施方法等の検討等を行い、また職能団体等はじめ関係機関等への情報提供等を行った。また、第52回全国社会福祉教育セミナーにおいて、シンポジウム「こども家庭ソーシャルワークに関する新資格とソーシャルワーク教育～ソーシャルワーク教育における新資格の意義と今後の展望」を開催した。会員校に対しては適宜、会員一斉メール等にて情報を提供した。運営については同団体への金銭貸付け及び事務局運営に協力した。

⑦法改正情報等の周知

以下、新型コロナウイルス感染症に関する通知を情報提供した。

- ・文部科学省・厚生労働省事務連絡「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所、養成施設の対応及び実習施設への周知事項について」（2023年4月25日）
- ・文部科学省・厚生労働省事務連絡「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所、養成施設の対応及び実習施設への周知事項について」の廃止について（2023年10月17日）

以下、社会福祉士の養成における実習指導におけるICTの活用に関連した通知を情報提供した。なお、「ソーシャルワーク実習・実習指導におけるICT活用のガイドライン」については、令和4年度社会福祉推進事業「平常時の社会福祉士養成課程におけるICT活用方法の検証に関する調査研究事業」（日本ソーシャルワーク教育学校連盟）の成果物である。

- ・厚生労働省「社会福祉士学校及び介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針について」（通知）（2023年11月30日）
- ・厚生労働省「社会福祉士養成施設及び介護福祉士養成施設の設置及び運営に係る指針について」

(通知) (2023年11月30日)

- ・厚生労働省「大学等において開講する社会福祉に関する科目の確認に係る指針について」(通知)
(2023年11月30日)
- ・厚生労働省「ソーシャルワーク実習・実習指導におけるICT活用のガイドライン」について(事務連絡)(2023年11月30日)

⑧こふく研DVDの頒布

昨年度に継続して頒布した。販売数：8部(2024年3月31日現在)

(2) 新カリキュラムによる実習教育内容変更への対応

①実習委員会の開催

- ・第1回 日時：2023年5月29日(月)17:00~18:45
方法：zoomによるオンライン開催
協議事項等：2023年度教員講習会の開催(実施方式や講師、スケジュール等)等、
新カリキュラムにおけるソーシャルワーク実習の実態調査について等
- ・第2回 日時：2023年10月17日(火)19:00~20:30
方法：zoomによるオンライン開催
協議事項等：実習演習担当教員講習会振り返り(教員講習会実施報告・担当講師より感想課題・次年度の実施に向けて)、次年度以降の実習担当教員に向けたフォローアップ研修に資するニーズ調査について、ICTを活用した遠隔地におけるソーシャルワーク実習のあり方について
新委員紹介、全国セミナー、東北ブロック研修会に係る講師派遣依頼について等

②社会福祉士・精神保健福祉士実習演習担当教員講習会

- ・受講申込者数：203人
- ・社会福祉士基礎分野講習
開催日：2023年7月14日(講義DVD発送日)、2023年7月21日(課題提出日)
方法：講義DVD視聴および課題提出
受講者：31人、修了者：31人(前年度修了者：31人)
- ・社会福祉士実習分野講習
開催日：2023年8月14日・18日・24日
方法：講義はオンデマンド視聴(事前収録動画配信)
演習はZoomによるリアルタイムオンライン開催
受講者：111人、修了者：111人(前年度修了者：109人)
- ・社会福祉士演習分野講習
開催日：2023年8月17日・22日・23日・31日
方法：Zoomによるリアルタイムオンライン開催

受講者：92人、修了者：92人（前年度修了者：103人）

・精神保健福祉士基礎分野講習

開催日：2023年7月14日（講義DVD発送日）2023年7月21日（課題提出日）

方法：講義DVD視聴および課題提出

受講者：20人、修了者：20人（前年度修了者：26人）

・精神保健福祉士実習分野講習

開催日：2023年8月14日・16日・21日・25日

方法：講義はオンデマンド視聴（事前収録動画配信）

演習はZoomによるリアルタイムオンライン開催

受講者：53人、修了者：53人（前年度修了者：50人）

・精神保健福祉士演習分野講習

開催日：2023年8月17日・28日・29日・31日

方法：Zoomによるリアルタイムオンライン開催

受講者：45人、修了者：45人（前年度修了者：48人）

③ 「ソーシャルワーク実習（旧：相談援助実習）実習担当教員講習会受講修了者に対するアンケート調査」の実施

実習委員会では、毎年度実施している実習担当教員講習会の評価を行うとともに、ソーシャルワーク実習担当教員のニーズを把握することで今後の活動を検討するために調査を実施した。

- ・調査対象者：本連盟（旧団体含む）の行ったソーシャルワーク実習（旧：相談援助実習）実習担当教員講習会の修了者 約3,200人
- ・方法：オンライン調査
- ・調査回答期間：2024年2月15日～3月15日
- ・回答者数：485名

④ 『社会福祉士・精神保健福祉士 新カリキュラム ソーシャルワーク実習のポイント』DVDの販売
昨年度に継続して頒布した。販売数：10枚（2024年3月31日現在）

（3）国家試験合格支援、就職活動、養成教育等についての情報発信

①社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験

- ・申込受付期間：2023年6月1日（木）～9月15日（金）
- ・申込方法：学校申込・個人申込
- ・実施期間：2023年10月2日（月）～11月5日（日）（実施基準日：10月21日（土）・22日（日））
- ・実施方法：学校内受験／個人宅受験
- ・実施会員校数：219校（会員校258校の実施率：85%）
- ・申込者数：10,164人（前年度申込者数：10,500人）
会員校申込者数：8,223人 うち学校内受験 6,884人、個人宅受験 1,339人

(前年度申込者数：8,254人)

中央法規申込者数：1,941人(前年度申込者数：2,246人)

- ・受験者への進路意向等アンケート 回答者数：8,137件 回収率：80.1%

②模擬試験問題・解説集・マークシートセットの販売

- ・2022年度：共通科目セット163、社会専門科目セット94、精神専門科目セット43
- ・2021年度：共通科目セット4、社会専門科目セット4、精神専門科目セット4
- ・2020年度：共通科目セット69、社会専門科目セット66、精神専門科目セット35
- ・2019年度：共通科目セット3、社会専門科目セット3、精神専門科目セット4
- ・2022年度版3カ年セット：共通セット135、社会専門セット121、精神専門セット65
- ・2023年度版3カ年セット：共通セット77、社会専門セット69、精神専門セット8(2023年3月販売開始)
- ・全年度共通マークシートセット：共通科目6、社会専門科目4、精神専門科目2

(2024年3月31日現在)

③2023年度社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験集中講座 PointBook(ビデオオンデマンド(VOD)視聴権付き)の制作・販売

【本年度の変更点】

- ・PointBookについては、装丁及び紙面構成は昨年と同じ規格で制作をした(科目毎のページ構成の統一、Webに掲載されている資料について二次元コードを記載、B5サイズ)。デザイン等は局内で制作し、コストカットを目指した。
- ・PointBookの編集作業を自局内で行っていたが、編集と校正、印刷製本をワンストップで印刷会社へ委託した事で職員の業務生産性向上や教材の制作の品質向上の改善が見られた。
- ・DVDとPointBookのセット販売をPointBookにVOD視聴権(ネット動画配信方式)付き販売に変更してDVDの制作コストや作業人件費を圧縮することができた。
- ・養成校・教員向けにはインターネットを使用しなくても学習できるDVD方式のニーズがあることから、昨年度同様に夏期講義用、小集団ゼミ講義用、図書館個人視聴用の用途で「教員メインセット」を発売し、VOD販売とすみ分けを図った。
- ・養成校・教員向けの「教員メインセット」を購入した場合のみ、学生向けにテキスト単品だけの「学生サブセット」の抱き合わせ販売を可能として、学生が安価で受験勉強ができるような仕様とした。

【講義並びにPointBookの構成】

- ・講座内容：科目別国家試験対策および重点箇所の説明他：1科目×60分(昨年度と同じ)
- ・実施科目：共通11科目、社会専門科目8科目、精神専門科目6科目合計25科目(昨年度と同じ)
- ・収録機関：2023年6月1日～7月31日
- ・配信日：2024年8月1日から順次VODとして発信
- ・配信方法：OneStream上のVOD講義動画をURLログインにて2024年2月9日まで配信
- ・動画配信プラットフォームのOneStreamではVOD視聴履歴や再生完了率等の視聴統計データの収集

が可能であり、受験勉強の履歴が把握できた。

- ・国試受験集中講座 PointBook 購入申込期間：2023 年 9 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

【販売実績】（2024 年 3 月 31 日現在）

- ・学生・個人向け国試受験集中講座 PointBook/VOD 販売数：共通：262 セット（前年：84 セット）、社会：229 セット（同：71 セット）、精神：138 セット（同：60 セット）
PointBook 単品販売：共通：57 セット、社会 57 セット（2024 年 3 月販売開始）
- ・養成校・教員向け国試集中講座 PointBook/DVD 販売数：共通 教員メインセット 26+学生サブセット 171 社会 教員Mセット 17 セット+学生Sセット 131 精神 教員Mセット 12 セット+学生Sセット 51

④受験生応援プロジェクト

昨年から LINE を開設し、受験生を中心に参画を呼び掛け、国試受験前に定期的にメッセージを送付するとともに、国試対策関連の動画の撮影と YouTube での公開を実施した。各種 SNS を横断的に活用した広報を展開している。

⑤就活応援プロジェクト

昨年度までに公開した動画を引き続き配信し、情報発信を継続して実施した。

⑥受験対策書籍等の出版

- ・「社会福祉士国家試験模擬問題集 2024」（中央法規出版）を編集
- ・「精神保健福祉士国家試験模擬問題集 2024」（中央法規出版）を編集
- ・「社会福祉士国家試験過去問解説集 2024」（中央法規出版）を編集
- ・「精神保健福祉士国家試験過去問解説集 2024」（中央法規出版）を編集
- ・「2024 社会福祉士国家試験過去問一問一答+α」（中央法規出版）を監修
- ・「2024 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験過去問一問一答+α<共通科目編>」（中央法規出版）を監修
- ・既刊・編集「最新 社会福祉士・精神保健福祉士養成講座（全 29 巻）」（中央法規出版）の販売促進

⑦国試関連情報の周知

- ・国家試験問題のホームページ掲載：社会福祉士国家試験の終了した 2024 年 2 月 5 日に第 36 回社会福祉士国家試験・第 26 回精神保健福祉士国家試験の問題を本連盟ホームページに掲載した。
- ・新型コロナウイルス感染症の対応：社会福祉士ならびに精神保健福祉士養成課程に係わる厚生労働省等の通知等を会員に周知した。（発出された通知等は、(3) 1. ⑦（10 頁）を参照）

⑧ハンドブック『ソーシャルワーカー！』の頒布

昨年度に継続して頒布した。販売数：2,495 部（2024 年 3 月 31 日現在）

(4) 学生への情報発信

①受験生応援プロジェクト（動画視聴回数は2024年3月現在）

日付	内容	視聴回数
2023/4/17	春ですね！ 2024年の国家試験に向けて、予告です (●´ω`●)	視聴回数：588
2023/5/29	【国試合格応援】あなごポスター、見つけてみて～【ソ教連の模試始まるよ】	視聴回数：150
2023/5/29	【ソ教連】解説動画&テキスト、申し込み開始です！【集中講座】	視聴回数：1178
2023/6/9	【国試】自宅でも受けれる、模擬試験も申込受付中～ (*´ω`*)	視聴回数：265
2023/8/1	夏だ！国試勉強、スタートダッシュだ～！！(・ω・)〇 ホ——！！	視聴回数：807
2023/9/1	もうすぐ国試申込スタート！ソ教連の【受験集中講座】受けてみない？	視聴回数：346
2023/9/7	【2024年2月受験】国試の受験申込スタート！申込んでどうやる？(´Д｀)	視聴回数：331
2023/9/27	【国試応援】受験生にオススメの本をご紹介します！(´▽`*)	視聴回数：360
2023/10/26	【国試100日前】受験生応援企画のお知らせ	視聴回数：492
2023/12/15	【国試50日前】受験票は、届きましたか？(´▽`*)	視聴回数：238
2023/12/22	受験生だけど、クリスマスどう過ごす？(*_*)	視聴回数：156
2023/12/27	問もなく年末！毎日投稿始めます(´◇`)ゞ【2023/12/27公開】	視聴回数：141
2023/12/28～ 2024/1/24 (28日間)	国試応援！【一問一答道場】01日目～27日目 各回の再生回数は以下 1日目：660 2日目：416 3日目：324 4日目：228 5日目：214 6日目：211 7日目：213 8日目：165 9日目：161 10日目：179 11日目：175 12日目：230 13日目：895 14日目：236 15日目：198 16日目：141 17日目：197 18日目：181 19日目：185 20日目：170 21日目：176 22日目：161 23日目：150 24日目：165 25日目：178 26日目：155 27日目：197 28日目：380	28日間の合計視聴回数：6941
2024/1/24 ライブ配信	【国試応援】あなごが全力応援！国試直前応援生放送（ライブ配信）2024.1.24 20:00～	同時接続最大人数：約130アカウント
2024/1/24	国家試験【合格祈願の旅2024】@富士山（2024.1.23配信）※ライブ配信映像からロケ映像だけ切り抜き公開	視聴回数：229
2024/2/1 ライブ配信	返ってきた国試応援生配信★あなご&KOM リターンズ～国家試験直前・大応援2024	同時接続最大人数：約130アカウント
2024/2/1	国試2日前！【超直前！国試受験生・大応援メッセージ！2024】2024.02.01	視聴回数：451

	※ライブ配信映像からロケ映像だけ切り抜き公開	
2024/3/5	またまたやります★あなご&KOM と一緒にこの瞬間を迎えよう！国試合格発表生配信	視聴回数：1,390

・合格祈願メッセージ(メッセージフォーム)への投書：43件

②就活応援プロジェクト（動画視聴回数は2024年2月21日現在）

本年度は新規動画の撮影・公開は実施せず、昨年度公開を開始した動画を継続して公開した。

2022/11/22	社会福祉士・精神保健福祉士の就活を応援します (YouTube) ・自分を知ろう 自己分析・相手を知ろう 職場の見つけ方	視聴回数：554 昨年度比+103回
2022/11/23	社会福祉士・精神保健福祉士の就活・履歴書って何書けばいいん(° o °)? (YouTube) ・菊地さん自己紹介・就職先の見つけ方・出会い方 ・働きやすい職場の条件・下調べや申込のやり方 ・就職先の見学方法・履歴書の作り方	視聴回数：378 昨年度比+81回
2022/11/25	社会福祉士・精神保健福祉士の就活：面接って... どうする!?(;'▽') (YouTube) ・面接の準備方法・審査の項目・小論文の場合・面接マナー	視聴回数：486 昨年度比+320回
2022/11/26	社会福祉士・精神保健福祉士の就活：社会人生活の実態をのぞき見しちゃお(*´艸`) (YouTube) ・社会人の先輩たちの暮らし・趣味と仕事の関係 ・就活に挑むみんなへのエール・リクルート情報 ・JASWE 事務局長：イトシンの就活生へのエール	視聴回数：203 昨年度比+42回

③学生への調査

- ・全国統一模擬試験受験生を対象とした、国試の合否や受験対策の内容、開始時期などに関するアンケート（2024年3月22日現在 回答数980件）

④日本精神保健福祉士協会の学生向けコンテンツへの寄稿

日本精神保健福祉士協会の依頼を受け、同協会の学生会員へのメールマガジンに、国試対策講座や本連盟 SNS、国試対策に関する情報の寄稿を2回行った。（2024年2月21日現在）

⑤模擬試験で関係団体を紹介

国家試験合格支援事業（模擬試験・国試受験集中講座 PointBook）の後援団体（日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士協会、日本医療ソーシャルワーカー協会、全国社会福祉法人経営者協議会）の紹介を、模試正答・解説集内及び PointBook 内に掲載。

⑥SNS 等による情報提供

- ・YouTube：登録者数：6,130人（2024年3月22日時点） 今年度投稿動画数：88本（受験応援14・毎日配信28・生放送2・アーカイブ2・調査広報1）
- ・Instagram：フォロワー：768人 本年度投稿：0件（2024年3月22日現在）
- ・X（旧 Twitter）：フォロワー：概ね10,283アカウント（2024年3月22日現在）

- ・LINE：アカウント登録者数：1,044人（2024年2月21日現在）
メッセージ送信回数15回、延べ送付メッセージ数 12,583件
- ・note(2023年12月15日開設)：8フォロワー、5記事

(5) 災害対応及び災害支援に関する教育強化

①令和5年5月5日14時42分頃の石川県能登地方の地震への対応

5月17日：現地会員校教員により、被災地域の現状調査を行った。
調査員：田中純一（北陸学院大学）

②令和5年5月7日からの大雨による天神川の堤防決壊への対応

5月11日：先遣隊派遣。学生の活動可能性の見立て等を目的として実施した。
派遣：山本克彦（日本福祉大学・本連盟会長補佐）

③2023年台風2号及び梅雨前線に伴う大雨等への対応

6月3日：全国の会員校の災害時連絡担当へ、情報収集のための一斉メール配信

6月5日～：被災エリアの社会福祉協議会等からの情報収集を実施

6月9日～10日：先遣隊派遣 現地派遣：新井利民(立正大学)。場所：埼玉県越谷市。災害ボランティアセンター運営関係者との関係形成、センター運営状況の把握、学生の活動可能性の見立て、近隣会員校との連絡調整、災害現場の視察、センターの運営支援を目的として実施。

7月20日～22日：先遣隊派遣 現地派遣：山本克彦（日本福祉大学・本連盟会長補佐）・新井利民（立正大学）・小森敦（本連盟事務局） 場所：岩手県盛岡市（物資拝受）、秋田県五城目町

④2023年6月30日からの大雨への対応

7月5日：ソ教連会員校のうち、近畿・中国四国・九州沖縄ブロックの会員校の災害時連絡担当へ情報収集のための一斉メール配信

⑤令和6年能登半島地震への対応

・全国の会員校の災害時連絡担当へ、情報収集のための一斉メール配信 1月5日：

・第1回先遣隊派遣 現地派遣：山本克彦（日本福祉大学・本連盟会長補佐）・新井利民(立正大学)・小森敦（本連盟事務局） 1月11日～14日

・第2回先遣隊派遣 現地派遣：山本克彦（同上） 2月1日～3日

・第3回先遣隊派遣 現地派遣：山本克彦（同上） 2月17日～21日

・第4回先遣隊派遣 現地派遣：山本克彦（同上）、村江史年（北九州市立大学）、菊池遼（日本福祉大学） 2月28日～3月6日

・学生ボランティア支援活動：「DWAS-JAPAN 能登半島地震コミュニティサポートボランティアキャンプ(2024春)」を実施した。災害部会及び事務局が現地活動のコーディネーター等を担い実施した。

開催実績は以下。

第1期：3月21日～29日（会員校学生21名が参加（DWAS-JAPAN 7名／立命館大学 8名／DWAS-SAITAMA（立正大学・埼玉県立大学・聖学院大学）6名）

- ・学生による災害支援活動のための資金調達：「能登のチカラ×学生のチカラ～ソーシャルワーク学生による災害支援活動を支える資金調達プロジェクト2024【第1期】」を実施し、協賛広告の募集を行った。2024年3月31日時点で6件（計500,000円と機材提供支援）の応募があり、次年度も継続する予定である。

⑥会員校から災害対応の教職員連絡先を取得し災害時の対応や連絡調整に活用：災害対応や情報収集・提供のため、会員校に向けて災害対応の教職員の氏名と連絡先の登録に協力を依頼した。現在98%以上の会員校で登録があり、災害発生時の情報収集等に協力いただいている。

（6）大学院を活用した専門職育成

①専門職大学院認証評価の実施

規定に基づき、2021年～2022年に取組んだ認証評価を振り返り、今後の改善に資するため行った自己点検・評価の内容を報告書に取りまとめ公表した。公表した自己点検報告書は、文部科学省に報告し、同省中央教育審議会大学分科会認証評価機関の認証に関する審査委員会のコメントを受けた。また、認証評価機関として、認証評価機関連絡協議会等に参加した。

②「認定社会福祉士認証・認定機構」に参画、協力等

- ・理事の派遣、委員の派遣
- ・本連盟推薦スーパーバイザーのスーパーバイザー登録（更新申請）の対応
- ・会員校に対する認定社会福祉士制度の「その他科目」の認証申請に関する周知、申請協力

（7）国際関係

国際団体での活動

IASSW 及び APASWE と連携し、国際機関への貢献と国際動向に関する情報収集及び国内への普及

1) IASSW（国際ソーシャルワーク学校連盟）

- ・理事会：2023年6月18日・19日（ポルトガル・ポルト） 2024年1月23日（オンライン）出席者：和気純子（本連盟副会長／IASSW 理事／東京都立大学）・役員選挙：2024年1月1日～3月15日（投票期間）会長1人、事務局長1人、一般理事2人を選出予定
- ・秋元樹氏（日本女子大学名誉教授、淑徳大学アジア国際社会福祉研究所名誉所長）へ Katherine Kendall 記念賞授与決定（2024年1月24日 IASSW 理事会にて）

2) APASWE（アジア太平洋ソーシャルワーク連盟）

- ・APASWE 役員選挙：2023年9月1日立候補締切、9月24日候補者一覧公表。会計担当理事として添田正揮候補（日本福祉大学）が選出。
- ・APASWE 総会：2023年11月5日（ハイブリッド/フィリピン・セブ市）出席者：和気純子（東京都立大学）・松尾加奈（淑徳大学）・添田正揮（日本福祉大学）。

- ・ APASWE 理事会：2023 年 12 月 1 日（オンライン）出席者：松岡加奈（淑徳大学）
- ・ 第 27 回アジア太平洋合同地域会議（APASWE・IFSW-AP）2023 年 11 月 5 日～7 日（フィリピン・セブ市）

（8）ロビーイング等

国政・国会議員や省庁など関係者に向けて、社会福祉士、精神保健福祉士養成や子ども家庭福祉、スクールソーシャルワークなどに関連する意見交換や情報提供などを行った。

① スクールソーシャルワーカーの活用に関する件

- ・ 情報提供

日時：2023 年 4 月 14 日、8 月 31 日、9 月 1 日、9 月 27 日

訪問先：国会議員等

- ・ 子供たちの豊かな学び・育ちを保障するために必要な教員処遇改善・教育投資を求める緊急集会に参加

日時：2023 年 5 月 17 日 会場：衆議院第一議員会館国際会議室

- ・ 記者発表

日時：2023 年 5 月 24 日 会場：文部科学省記者クラブ

② こども家庭ソーシャルワーカー認定資格に関する件

- ・ 情報提供

日時：2023 年 6 月 2 日、6 月 30 日、

訪問先：国会議員、厚生労働省、こども家庭庁など

③ 災害福祉支援に関する件

- ・ 情報提供

日時：2023 年 12 月 4 日、2024 年 3 月 8 日

訪問先：国会議員、厚生労働省等

④ 会長等挨拶

日時：2023 年 7 月 3 日、7 月 18 日、8 月 9 日、2024 年 3 月 8 日

訪問先：国会議員、厚生労働省、文部科学省、こども家庭庁、全国社会福祉協議会、社会福祉振興・試験センターなど

（9）関係省庁・関係団体との協働

① 厚生労働省

- ・ 厚生労働省社会福祉推進事業による「社会福祉士学校養成所の既卒者に対する国家資格取得支援の在り方に関する調査研究事業」の実施
- ・ 全国社会福祉教育セミナーで行政説明（社会・援護局 総務課、社会・援護局 障害保健福祉部 精神・

障害保健課)、後援名義使用許諾

- ・「ひきこもり VOICE STATION 全国キャラバン」開催及び「ひきこもり VOICE TV」放映の周知

②文部科学省

- ・認証評価機関連絡協議会の参加
- ・「大学生等に対する給付型の修学支援」(授業料等減免と給付型奨学金)の周知協力
- ・スクールソーシャルワーカー基礎研修の後援名義使用許諾
- ・全国社会福祉教育セミナーで行政説明及び後援名義使用許諾

③法務省

- ・「第73回“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」について会員校へ周知協力(ポスター・リーフレットの配付含む)・“社会を明るくする運動”の一環である「保護観察官による更生保護出張講座」の周知
- ・“社会を明るくする運動”中央推進委員会に構成団体として参画
- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾

④こども家庭庁

- ・こども家庭庁による子ども・子育て支援等推進調査研究事業の「こども家庭ソーシャルワーカー(仮)の施行に向けた具体的運用に関する調査研究」の実施
- ・全国社会福祉教育セミナーで行政説明及び後援名義使用許諾
- ・「オレンジリボン・児童虐待防止キャンペーン」への周知協力
- ・令和5年度「学生よるオレンジリボン運動」「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」標語募集
- ・こどもの虐待防止推進及びヤングケアラーの普及啓発活動の周知協力(ポスター等配布物)

⑤日本ソーシャルワーカー連盟(JFSW:日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士協会、日本医療ソーシャルワーカー協会、日本ソーシャルワーカー協会)

- ・JFSW主催のイベントや都道府県のソーシャルワーカーデー、参画団体の全国大会や研修等の周知協力
- ・第27回アジア太平洋合同地域会議(APASWE・IFSW-AP)JFSW企画ツアーの周知協力
- ・日本精神保健福祉士協会、本連盟会員校の実習指導者連携事業の協力、周知
- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼
- ・本連盟理事として、本連盟の運営に関し協力、助言を得た。

⑥全国社会福祉協議会

- ・本連盟理事として、本連盟の運営に関し協力、助言を得た。
- ・全国社会福祉協議会評議員を派遣
- ・中央福祉人材センター運営委員会への委員を派遣

- ・『広がれボランティアの輪』連絡会議に構成団体として参画、国際プロジェクトに委員を派遣、「ボランティア全国フォーラム 2023」、「省庁懇談会」、「勉強会」の周知協力
- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼

⑦全国社会福祉法人経営者協議会

- ・本連盟理事として、本連盟の運営に関し協力、助言を得た。
- ・調査研究事業や周知広報等実施に係り、会員法人を対象とした調査依頼情報の広報の協力を得た。本連盟からは、全国社会福祉法人経営者協議会が展開するイベントや動画コンテンツについて、本連盟ホームページへの掲載、会員校へのメール周知、SNS への投稿を通じ広報協力（出張！社会福祉 HERO' S スクール、社会福祉 HERO' S TOKYO2023 登壇者募集など）
- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼

⑧福祉系大学経営者協議会

- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼

⑨ソーシャルケアサービス（SCS）研究協議会

- ・全体会議等への委員の派遣
- ・2023 年度事業への協力
- ・ソーシャルワーク専門職の社会的認知・地位向上、任用・活用の促進、職域拡大、待遇改善等をはかるための働きかけ
- ・「地域共生社会推進に向けての福祉専門職支援議員連盟」活動支援
- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼
- ・事務局業務の分担

⑩認定社会福祉士・認証認定機構（再掲）

- ・理事の派遣、委員の派遣
- ・本連盟推薦スーパーバイザーのスーパーバイザー登録（更新申請）の対応
- ・会員校に対する認定社会福祉士制度の「その他科目」の認証申請に関する周知、申請協力
- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼

⑪日本学術会議

- ・社会学委員会 社会福祉学分科会 見解「コロナ禍で顕在化した危機・リスクと社会保障・社会福祉～誰一人取り残さない制度・支援への変革～」公表の周知

⑫日本社会福祉学会

- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼

⑬日本地域福祉学会

- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼

⑭日本ソーシャルワーク学会

- ・国際ソーシャルワークセミナーの事後配信・事後資料共有
- ・「ソーシャルワーク研究」誌への編集協力
- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼

⑮日本社会福祉系学会連合

- ・本連盟理事として、本連盟の運営に関し協力、助言を得た。

⑯全国福祉高等学校長会

- ・全国社会福祉教育セミナーの後援名義使用許諾を得、周知を依頼

⑰その他

1) 東京都社会福祉協議会

- ・東京都福祉人材対策推進機構運営協議会へ構成員を派遣
- ・東京都福祉人材対策推進機構専門部会へ委員を派遣

2) 認定 NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク主催、2023 年度「学生によるオレンジリボン運動」への協力要請により、会員校に運動の協力を呼びかけ

3) 「介護のしごと魅力発信等事業（事業間連携等事業）」にオブザーバーとして参画

4) 中央共同募金会：令和 5 年度（第 77 回）赤い羽根共同募金運動を周知 など

5) 省庁や関係団体からの情報を周知

(10) 会員校支援

① 会員校関係業務（入退会、会費徴収）

② 全国の社会福祉士実習施設・機関情報（日本社会福祉士会協力）並びに精神保健福祉士実習指導者情報（日本精神保健福祉士協会連携事業）を会員へ提供

③ 会員校の成績優秀者に対して表彰を実施（213 校、331 人）

④ 会員校の入学式、卒業式に際して祝辞を送付

⑤ ソーシャルワークに関する研修、求人・就職、教員公募等の情報を会員へ提供（HP へ掲載、一斉メール送信）

⑥ 会員校情報の収集と集約（会員名簿の更新）、ブロックへの名簿情報提供

⑦ 会員校数

日付	入会	退会	会員数
2023 年 4 月 1 日			258 校
2024 年 3 月 31 日	0 校	9 校	249 校

(11) 業務のデジタル化

①養成校・教員向けオンラインショップ開設

カラーミーショップのシステムを使用したオンラインショップを、2022年10月3日には学生・個人向けショップを、2023年5月15日には養成校・教員向けショップをオープン。養成校への発送も事務局からの手発送からロジモプロ社の配送システムを使用した発送へ移行。また手書きと郵送による見積書、請求書、納品書、領収書の4種の書類を購入者が自身でダウンロードできる発行システムにより省力化を実現。

【売上実績】

- ・学生・個人オンラインショップ売上 5,529,250円
- ・養成校・教員オンラインショップ売上 4,466,500円
- ・全国統一模擬試験とのセット販売売上 4,704,000円
- ・合計：14,699,750円（前年度売上：3,061,650円／対前年度比：480.1%）

②文書電子化

資料の保管方法を確認し、事務局に紙面で保管されている各種書類でデータ化が可能なもの（旧団体のデータ、関係団体やその他法人の過年度の報告書や記録類等）を、PDFデータに変換してサーバーに保存した。保存後の資料は溶解処分の手配済み。

③オンライン研修システム「manaable（以下、マナブル）」の検討

「こども家庭ソーシャルワーカー（仮）の施行に向けた具体的運用に関する調査研究」において、オンライン・クラウド研修システム「マナブル」の実装のための検討を実施。研修参加の申込み、研修費の支払い、事前課題の提出、開催案内、出席確認、研修開催（参集・ライブ配信・オンデマンド配信）、修了確認、アンケート、課題提出等の一連の研修フローをワンストップで一元管理ができる。2024年2月20日、2月27日に試行研修において運用実験を実施。

(12)事務局の指示命令システムの明確化と省力化・省スペース化・業務効率化

①余剰在庫や産廃物を廃棄し、適正在庫化、備品管理化を行い、会議スペースを再構築。外部との打ち合わせや研修スペースとして有効活用できる環境にした。

②業務遂行能力の向上

欠員補充等として非常勤職員2人及び派遣社員1人を雇用し、指示命令システムの明確化等により事務局体制を強化し業務分担を再編した。また、毎週月曜日に事務局職員の定例のミーティングを行う等により、業務の状況や情報共有、収支に関する意識化等を行った（継続）。

(13)その他

①日本地域福祉学会事務局業務の受託